



# 川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和6年9月30日  
富田林市立川西小学校  
TEL 24-3107  
FAX 26-2306

★児童数配布

## 『 素 敵 な 場 面 』

校長 山下 文博

秋分の日も過ぎましたが、まだ暑く感じる日があり、熱中症対策にも気が抜けない状況です。そんな中、つい先日、五年生が林間学舎に行ってきました。一日目の午後は、大阪府青少年海洋センターでの『いかだ体験』。気温も「海のプログラム」を楽しむのに適していたようで、とてもいい思い出になったのではないのでしょうか。

さて、二学期もはじまり、日常の学校生活が落ち着きだした九月中旬。正門から登下校する児童がたくさん行き来する、錦織神社の参道横の通学路で車道ガードレールの交換工事が行われました。工事初日、市役所の方からは歩行者は普段通り、通行できると聞いていたのですが、重機も入り、少し大がかりな工事で、歩行者も通れる状況ではありませんでした。急遽、錦織神社の参道を通ってなんとか下校することができましたが、慣れない道で戸惑う低学年の児童もいました。見守り隊の方が市役所に掛け合ってくださり、翌日は通れるようになりました。が、下校中も工事は続きます。安全確保のため、警備の方も配置されています。暑い中、少し高齢の男性の方が、立っておられました。「今日から、こっち通れるよ。」と児童に声をかけてくださり、笑顔で一人ひとりに「さようなら。」とも。子どものことが好きなのだろうと思いました。この日は二中の生徒も同じような時間に下校だったようで、警備の方は、小学生と同じように中学生にも声をかけておられました。すると、二中の生徒たちも「ありがとうございます。」と返しています。一人二人ではなく、そこを通る多くの生徒たちが同じように返していました。人間関係の希薄化なども謳われるこの時代に、なんと素敵な中学生なのだろうと、感心しました。

では、川西小学校の児童はどうでしょうか。つい先日、地域の方から一本のお電話がありました。地域の方からのお電話というと、遊び方が悪い、自転車の乗り方、駐輪の仕方が悪い、遅くまで騒いでいる…などの内容なのですが…、今回は「私、すばるホールで習字をしているのですが、今骨折をしていて、松葉杖をついているんです。松葉杖をつきながら荷物を持って帰っていると、男の子がふたり（6年生）声をかけてくれたんです、荷物持ちましょうかと。一度は辞退したのですが、再度、持ちますよと言ってくれ、甘えさせてもらいました。本当にいい子に育っているな」と思い、お電話しました。」とのことでした。

ふとした場面で、他者の立場に立ち、相手の気持ちや思いを感じ取り、直感的にさっとそのような行動ができること、とても素晴らしいと思いましたし、二人のことを誇りに思います。このような素敵な行動ができるように成長したのは、到底学校教育の場だけではありません。ご家族の行動や感覚、価値観に触れることでこのような姿になってきたのだと思います。私が見聞きしたのは、ほんの一部分だと思います。今後も、この川西小学校区でこのような素敵な場面に出会えることが楽しみです。

